

【令和3年度】																																
番号	特定開発事業の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発 事業を 行う区域 の面積 (㎡)	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容										再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1							特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況	
						予定建築物の概要				エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電						その他	変更届	完了届等									
						棟番号	用途	延べ面積 (㎡)	備考						定格出力 (kw)	太陽光発電 の 利用	風力 発電 の 利用	水力 発電 の 利用	地熱 発電 の 利用	その他 再生可能 エネルギー の 利用												
001	厚木下依知開発計 画	厚木市下依知字中 河原651番地先一 帯	信濃運輸株式会 社 代表取締役 林 俊彦 共進運輸株式会 社 代表取締役 山 下茂 KIC厚木特定目 的会社 取締役 細 谷 晋一郎	施設利用予定者である共進運輸 株式会社と信濃運輸株式会社 が、現在、県内3ヶ所の配送セ ンターで行っている配送事業が非 効率となっているため、3ヶ所 の施設を集約し物流業務の効率 化を図るため、KIC厚木特定目 的会社が土地建物の所有者とな り物流倉庫を建設する。	11,961.53	1	倉庫	10,366.31	鉄骨造 地上3階 建築面積5,406.57 ㎡	・照明は原則としてLED照明を設置し た。 ・新設建築物の長寿命化を図るため、塗 装鋼板断熱材サンドイッチパネルを 使用した。 ・冷暖冷凍施設の効率を上げるため、 高断熱の設備を使用し、建築物の断熱 化をした。（再掲）	・神奈川県土地利用調整条例で定めら れている緑化基準25%を超える緑化を した。（緑地面積3659.0㎡、緑化率 30.5%） ・冷暖冷凍施設の効率を上げるため、 高断熱の設備を使用し、建築物の断熱 化をした。（再掲）	・駐車場、駐輪場を設置した。 ・最寄り駅からのシャトルバスを導入 した。	・自然環境保全条例第22案に基づ く「みどりの協定実施要綱」により、み どりの協定を締結し、必要とする基準 を満たす緑地を設置した。 ・開発区域から近隣の騒音等を低減 するため、外周に緑地帯を設置した。 ・神奈川県土地利用調整条例で定めら れている緑化基準25%を超える緑化を した。（緑地面積3659.0㎡、緑化率 30.5%）（再掲）	・アイドリングストップを徹底した。 ・建設廃材は、建設リサイクル法等に 従い建設廃材の抑制をした。	△						●	△コ ー ジ エ ネ	棟番号1 ・総合評価★★B- 以上 ・地球温暖化への 配慮 ライフサイ クルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★★ A ・地球温暖化への 配慮 ライフサイ クルCO2排出率 81% ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア3.0	2021/7/1	2022/12/31	2022/10/17 延床面積	2022/10/17				
002	（仮称）K100NA相 模原店Ⅱ 新築工 事	相模原市中央区東 湘野辺4丁目2209 番448外	株式会社アンダー ウッド 代表取締 役 木下 正子	遊技場の建設のため。	14,161.53	1	駐車場 遊技場	18,632.81	建築面積：5,927.73㎡ 鉄骨造 地上5階建て	・熱源設備において、ヒートポンプ利用 設備を導入した（ヒートポンプ冷暖房を導入） ・予定建築物と外灯において高効率な 照明設備を導入した（LED照明を導入） ・予定建築物において有効な自然採光 を確保した。 ・予定建築物の断熱化を図った（風除 室、外壁断熱）	・自治体等が定める制度・基準等を踏 まえた、開発区域内の緑化を図った （相模原市開発事業基準条例で定めら れている緑化基準10%を超える） ・予定建築物の断熱化を図った（風除 室、外壁断熱）（再掲） ・開発区域内の舗装面積の最小化を 図った ・自治体等が定める制度・基準等に基づ き、既存の樹木、緑地の保全を図った	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐 輪場を整備した ・歩行者が安全に通行できる歩道を整 備した（敷地内に歩道状空地を設置） ・開発区域内の走行ルートを指定した ・予定建築物において荷捌き場を確保 した	・自治体等が定める制度・基準等を踏 まえた、開発区域内の緑化を図った （相模原市開発事業基準条例で定めら れている緑化基準10%を超える）（再 掲）	・建設資材の調達において、輸送距離 の最小化や効率的な輸送を図った （車両、重機のアイドリングストップ の推進等、省エネルギー運転を実施し た） ・建設機械（車両、重機等）を適正整 備した （エンジンの点検整備、タイヤ等の点 検整備）	△						●	△コ ー ジ エ ネ ●高効率 空調設備	棟番号1 ・総合評価★★B- 以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率98% ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア2.0	棟番号1 ・総合評価★★B- 以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率98% ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア2.5以上	2021/7/1	2022/5/31	2022/5/11 開発事業者	2022/5/27				
003	三井不動産ロジス ティクスパーク海 老名Ⅰ 新築工事	海老名市中新田字 三番河原3290番12 地191番	三井不動産株式会 社 代表取締役社 長 荒田 正信	倉庫業を営む倉庫の建設	56,543.37	1	倉庫	121,920.20	鉄骨造（免震構造） 地上6階 建築面積25,577.82㎡	・太陽光発電設備（定格出力 2,012.8kW）を設置した。 ・事務室において、ハイサッシを採用 することにより、自然採光を活用し た。（再掲） ・倉庫棟の外壁材に断熱性の高い断熱 サンドイッチパネル（ロックウール t=50充填）を採用した。 ・倉庫棟の屋根材として断熱性の高い ガルバリウム鋼板折板二重葺 断熱工 法（グラスウールt=100充填）を採用 した。（再掲）	・倉庫棟の外壁材に断熱性の高い断熱 サンドイッチパネル（ロックウール t=50充填）を採用した。（再掲） ・倉庫棟の屋根材として断熱性の高い ガルバリウム鋼板折板二重葺 断熱工 法（グラスウールt=100充填）を採用 した。（再掲） ・事務所エリアのガラスにLow-E複層 ガラスを採用した。（再掲） ・日射遮蔽を目的として、事務室の開 口部に庇および緑のカーテンを設 置した。（再掲） ・事務室において開閉可能な窓を採用 することにより、自然換気を活用し た。（再掲） ・神奈川県および海老名市の条例に基 づいて、緑化基準20%の豊かな緑地 を確保し、周辺環境向上に寄与した。 （緑地面積11422.79㎡、緑化率 20.20%）	・敷地内に必要な台数の大型車待機 場、乗用車駐車場、トラックバス、 原付駐車場を整備し、周辺交通負荷 の抑制を図った。 ・敷地の歩行者入口から建物エントラ ンスまで、歩行者が安全に通行でき る歩道を整備した。 ・敷地内のスムーズな交通流に配慮し て、物流車両動線については、一方 通行とした。 ・建物内の荷捌きスペース（倉庫の一 部）を確保した。 ・必要台数の自転車駐車場を整備し て、自転車利用を促進し、周辺交通負 荷の抑制を図った。 ・交通計画により周辺交通への影響 を軽減した。 ・複数テナントの入居が可能な施設と した。	・神奈川県および海老名市の条例に基 づいて、緑化基準20%の豊かな緑地 を確保し、周辺環境向上に寄与した。 （緑地面積11422.79㎡、緑化率 20.20%）（再掲） ・屋上緑化を行った。 ・近隣の緑地の生育状況を調査し、海 老名の自然植生・緑地の海老名運動公 園の緑との連続性に配慮した樹林とし た。 ・緑地、造成法面の緑化を図った。	・共用部分のビニル床材、タイルカー ペット、ボードにリサイクル資材を採 用した。 ・アスファルト舗装の路盤材として、 再生砕石を採用できるようにした。 ・鉄骨造の建家ではあるが、高層伏点 鋼の採用により鋼材使用量を削減す ることで、製鉄工程におけるCO2排出 量を削減した。 ・建設残土を敷地内に敷均し、増外搬 出処分をゼロとすることで、土砂搬出 車両からのCO2排出量を削減した。 ・神奈川県条例に基づいて、アイドリ ングストップを推進した。 ・建設機械（車両、重機等）を適正整 備した	●	2,012.80	△		●	△コ ー ジ エ ネ ●高効率 空調設備	棟番号1 ・総合評価★★★ A ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率50% ・ヒートアイラン ド現象の緩和ス コア3.5	棟番号1 ・総合評価★★★ A ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率50% ・ヒートアイラン ド現象の緩和ス コア3.5	2021/5/6	2022/9/30		2022/8/21						
004	（仮称）大和物流 株式会社海老名物 流センター2	海老名市社家字嵯 峨野274-1 外19 1番	大和物流株式会 社 代表取締役 木 下 健治	当該地域における物流拠点の集 約化に伴う効率化、及び市、県 の条例規定に伴う公共緑地、外 周緑地帯の整備等により、周辺 環境にも調和した物流倉庫を建 設する。	15,342.80	1	倉庫	14,777.00	鉄骨造 地上2階 建築面積7,893.90㎡	・自然換気、自然採光を利用する建築 設計とした。（倉庫内への採光窓設置 や営業時間中オーバースライダー等 の開口部開放。また、事務所エリア への引違い窓等の設置） ・風除室を設置し、建築物の断熱化を 図った。	・海老名市まちづくり条例、及び神奈 川県みどりの協定に定められている 緑化基準25%を超える緑化を図った （25.32%、3,884.92㎡）。	・駐車場を設置した。 ・荷捌場（大底下・トラックバス） を確保した。 ・歩行者が安全に通行できるよう、車 道歩道間のマウントアップを図った。	・敷地外周沿いに緩衝緑地帯を設置し た。 ・海老名市まちづくり条例、及び神奈 川県みどりの協定に定められている緑 化基準25%を超える緑化を図った （25.32%、3,884.92㎡）。（再掲）	・アイドリングストップを励行した。 ・製造/廃棄時にCO2排出量の少ない 資材の利用として、環境パールのつ いた建設資材等の使用、再生資材の 使用及び建設廃棄物の再資源化の促 進を図った。	△						●	△コ ー ジ エ ネ	棟番号1 ・総合評価★★B- 以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率— ・ヒートアイラン ド現象の緩和ス コア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★B- 以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率— ・ヒートアイラン ド現象の緩和ス コア2.5以上	2020/7/3	2021/4/19		2021/4/19				
005	（仮称）戸塚区吉 田町計画 新築工 事	横浜市戸塚区吉田 町1482番の1番地 外4番	1. 西日本鉄道株式 会社 不動産事業本 部 東日本事業部長 島 恵一 2. 三菱地所レジ デンス株式会社 第 一開発部長 石 裕 久 3. 大林新里和不 動産株式会社 代 表取締役社長 矢 野 忠貴 4. 大和地所レジ デンス株式会社 代 表取締役社長 下 村 俊二 5. 静岡鉄道株式 会社 代表取締役 川井 敏行 6. 総合地所株式 会社 代表取締役 梅津 英司	共同住宅の新築のため	27,320.04	A棟	共同住宅	12,425.82	建築面積：1882.65㎡ 構造：RC造 階数：地上11階	・高効率な給湯設備（ガス潜熱回収型 給湯器）を導入した。 ・熱源設備において、ヒートポンプ利 用設備（空冷ヒートポンプ式エアー コン）を導入した。 ・効率的なエネルギー利用の制御シ ステムとして共用部照明設備はタイ マー及びセンサーを導入した。 ・LED照明設備を導入した。	・横浜市緑の環境をつくり育てる条 例に基づいて敷地東側の既存の樹木 （シラカシやイヌシナ、ミズキ等） を保全すると共に、東側斜面に協 定緑地を設定した。（協定緑地面積 ：3,542.39㎡） ・横浜市緑化地域に関する条例に基 づく緑化地域制度に基づいて、緑 化基準敷地面積の10%以上の緑化 を行った。（5,011.23㎡、緑化率 ：18.34%） ・屋外機前に十分な解放スペースを 確保した。 ・透水性のあるアスファルト舗装の 採用した。 ・各住棟十分な隣棟間隔、敷地境界 から離れた位置で計画し風の通り 道を確保した。	・駐車場（272台）・駐輪場（781台） バイク置場（40台）を設置した。 ・居住者用シャトルバスを導入した。 ・横浜市福祉のまちづくり条例に 適合した動線計画とし、歩きやす く快適な歩道を整備した。	・敷地東側の既存の樹木（シラカシ やイヌシナ、ミズキなど）を保全 すると共に、東側斜面に協定緑地 を設定した。（協定緑地面積：3,542.39㎡） （再掲） ・横浜市緑化地域に関する条例に基 づく緑化地域制度に基づいて、緑 化基準敷地面積の10%以上の緑化 を行った。（5,011.23㎡、緑化率 ：18.34%）（再掲）	・アイドリングストップを励行した。 ・敷地外からの土砂の搬入を抑える ため、掘削残土の再利用を敷地内 で行った。	△					●	●	△コ ー ジ エ ネ ●高効率 空調設備	・棟番号1～3総合 評価 ★★★★★A ランク A棟 CASBEE横浜による 総合評価A B棟 CASBEE横浜による 総合評価A C棟 CASBEE横浜による 総合評価A	【参考】 A棟 CASBEE横浜による 総合評価A B棟 CASBEE横浜による 総合評価A C棟 CASBEE横浜による 総合評価A	2021/11/30	2025/7/31	2025/8/25 ・開発事業者 ・区域の面積 ・延べ面積 ・措置の内容	2025/8/25				
006	（仮称）ロジクス 座間計画	座間市栗原字東原 493の5	座間デベロップ メント特定目的 会社 取締役 菊池 省 吾 ENEOS不動産株式 会社 代表取締役 社長 丹羽 遼夫	倉庫（倉庫業を営む倉庫）の新 築	83444.71	1	倉庫	176,441.32	鉄骨造 地上5階、塔屋1階 建築面積37,103.063㎡	・予定建築物において、LEDを導入し た。 ・高効率な冷暖房設備（全熱交換器） を導入した。 ・予定建築物に風除室を採用し、断熱 化を行った ・建築物に対する日射遮へいを図って いる（高木）	・開発区域内を自然被覆化した（敷地 外周部への緑化の実施） ・座間市開発等事業指導要綱で定めら れている緑化基準20%を超える緑化を 行った（21.01%、17003.41㎡）	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐 輪場を整備した ・事業の目的・用途に応じ、必要な駐 車スペースを確保した ・開発区域内の走行ルートを指定した （トラックについて進入と退出を別々 にして周辺交通へ配慮した動線とし た）	・座間市開発等事業指導要綱で定めら れている緑化基準20%を超える緑化を 図った（21.01%、17003.41㎡）（再 掲） ・開発事業によって生じた緑地に在来 種（シラカシ・アラカシ等）を取入 れた	・低燃費型建設機械を積極的に採用し た ・車両、重機のアイドリングストップ の推進等、省エネルギー運転を実施し た	△						●	△コ ー ジ エ ネ	棟番号1 ・総合評価★★B- 以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率75% 以下 ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア2.5以上	棟番号1 ・総合評価★★★ A ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率76% 以下 ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア3.0	2022/2/1	2023/11/30	2022/3/31 開発事業者 2023/11/1 棟番号 延べ面積 建築面積 措置の内容	2023/11/9				

番号	特定開発事業の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容						再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1								特定建築物に 係る地球温暖化 対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖化 対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況							
					特定開発 事業を行 う区域 の面積 (㎡)	予定建築物の概要			エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電				その他				変更届 (予定) 年月日及び 変更事項 ※3					完了 (中止) 年月日							
						棟番号	用途	延べ面積 (㎡)						備考	定格 出力 (kw)	太陽熱 利用	風力 発電	水力 発電	温度 差熱利 用	その他 照明 設備 等	その他 設備 等													
007	県営二宮団地建替 事業	中郡二宮町百合が 丘三丁目8 2番1	神奈川県 神奈川 県知事 黒岩 祐 治	既存の県営共同住宅の建替え	11714.38	1	共同住宅	1,691.13	建築面積：715.19㎡ 構造：RC造 地上5階	・共同住宅では、空調設備に代わり、 冷房負担低減に有効な自然通風を導入 している。 ・外部や共用部・各住戸で使用する照 明器具は積極的にLED照明とする。 ・高効率な給湯設備(ガス瞬間給湯器 (潜熱回収型))を導入している。	・二宮町の開発事業における手続及び 基準等に関する条例で定められている 緑化基準10%、及び県有施設の緑地率 確保に関する実施要綱により定められ ている緑化基準15%を超える緑化を図 る。(緑化面積 2,150.12㎡、緑化率 18.35%) ・室外機周囲に適切なスペースを確保 し、排熱のショートサーキットの防止 等を図っている。 ・構内歩廊に透水性の高い舗装材を利用 している。 ・構内歩廊をピロティで連続させるこ とで、風の通り道を確保している。	・敷地内に駐車場 53台・駐輪場 106 台を設置する。 ・構内歩廊はカラー舗装で整備し、歩 きやすく快適な歩道を整備している。 ・構内歩廊に透水性の高い舗装材を利用 している(再掲)	・二宮町の開発事業における手続及び 基準等に関する条例で定められている 緑化基準10%、及び県有施設の緑地率 確保に関する実施要綱により定められ ている緑化基準 15%を超える緑化を 図る。(緑化面積 2,150.12㎡、緑化 率18.35%) (再掲) ・開発事業によって生じた裸地・造成 法面において在来種(タマリュウなど) を選んで緑化を図っている	・環境ラベルのついた建設資材等の積 極的な利用を図る。 ・低燃費型建設機械の積極的な利用を 図る。 ・アイドリングストップ等の省エネ運 転・機械操作を徹底する。	△	△						●	△コージェネ		2022/4/1	2026/6/30								
008	オリックス不動産 (仮称)厚木Ⅲロジ スティクスセン ター新築工事	愛川町中津字桜台 4025番 1 他 4 筆	オリックス不動産 株式会社 代表取締役 深谷 敏成	事業用物流倉庫建設の為	75,544.56	1	倉庫	180,402.22	建築面積：32,448.07㎡ 構造：RC(柱) +S(梁)造 地上5階	・建屋内及び敷地内照明に積極的にLED 照明を導入した。 ・敷地北東部に電気自動車用充電設備 を整備した。 ・太陽光発電設備を導入した。(定格 出力2,309.45kW)	・神奈川県県民との協定に基づく緑化 基準 (15%)を満たす緑化を図った。 (緑地面積14,218.84㎡、緑化率 18.79%) ・緑地帯を設置することで空地オープ ンスペースの連続性に配慮した、風の 通り道を確保した。	・駐車場 (493台)、駐輪場(60台)を 整備する。 ・トラックの一時停車スペースを敷地 内に確保した。	・神奈川県県民との協定に基づく緑化 基準 (15%)を満たす緑化を図った。 (緑地面積14,218.84㎡、緑化率 18.79%) (再掲)	・低燃費型建設機械を積極的に採用し た。 ・工事関係者にアイドリングストップ を励行した。	●	2,309.45	△				●	●	△コー ジェネ ●高効率 空調設備	棟番号1 ・総合評価★★★ B+以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイク ルCO2排出率80% 以下	棟番号1 ・総合評価★★★ ★A ・地球温暖化への 配慮ライフサイク ルCO2排出率60% ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア値3.0	2022/4/1	2024/3/31	2024/3/5 延べ面積 措置の内容	2024/4/15					
009	Landport横浜福浦 新築工事	横浜市金沢区福浦 3丁目11番2、11番 3	野村不動産株式会 社 代表取締役 長 松尾 大作	全国的に高まる物流倉庫の需要 に伴う、物流倉庫の新築	33,487.96	1	倉庫	43,907.48	建築面積：22,111.09㎡ 構造：S造 地上2階、地下0階	・太陽光の導入を予定した。(定格出 力：2,609.46kW) (売電) ・高効率な冷暖房設備(全熱交換器)を 導入した。 ・全館にLED照明の導入を行った。	・室外機の配列に配慮し、排熱の ショートサーキットの防止等を図って いる。 ・設備バルコニーを設置することで、 熱が拡散しやすい位置で排熱してい る。また、歩行者動線より上部に同設 備を設置し、歩行者空間に配慮した排 熱を行っている。 ・屋上緑化を計画すると共に、横浜市 開発事業の調整等に関する条例で定め られている緑化基準10%を超える緑化 を行い、高木・中木・低木等をバラン スのよい配置を行った。(緑地面積 4,534.64㎡、緑化率13.54%) ・歩行者空間等へ風を導く建築物の配 置とした。また、通路等の空地オープ ンスペースの連続性に配慮し、南北に 風の通り道を作った。	・駐車場73台、駐輪場40台を設置し た。 ・荷捌き場を確保した。 ・極力段差を設けず、歩きやすく快適 な歩道を整備した。	・道路沿いに緑地を設置し、歩行者に 配慮した緑化計画とした。 ・屋上緑化を計画すると共に、横浜市 開発事業の調整等に関する条例で定め られている緑化基準10%を超える緑化 を行い、高木・中木・低木等をバラン スのよい配置を行った。(緑地面積 4,534.64㎡、緑化率13.54%) (再掲)	・低燃費型建設機械を積極的に採用し た。 ・アイドリングストップと省燃費運転 を励行した。	◎	2,609.46	△				●	△コージ	棟番号1 【参考】 CASBEE横浜による 総合評価A以上	棟番号1 【参考】 CASBEE横浜による 総合評価A	2022/5/16	2023/9/15	2023/9/6 開発事業名称 措置の内容	2023/9/7						
010	三井不動産ロジス ティクスパーク座 間	座間市ひばりが丘 四丁目5660番地13	座間相模特定目的 会社 取締役 三 品 貴仙	大型物流倉庫の建設	60,916.32	1	倉庫	134,019.86	建築面積：34795.59㎡ 構造：柱RC 梁S ラン プS 地上4階 塔屋1階	・可動式の窓を導入し、自然通風を確 保した。 ・複層ガラス、高効率空調機を導入し た。 ・調光式の照明やLED照明を導入し た。	・建築物の周囲に植栽帯、緩衝緑地 帯、街路樹を設けた。 ・東側・北側駐車場に緑化ブロックを 設けた。 ・座間市開発等指導要綱技術基準で定 められている緑化基準(20%)を満たす 緑化をした。(12,321.05㎡、20%以 上) ・倉庫棟には3Fテラスと屋上に屋上緑 化を設けた。	・駐車場170台、駐輪場112台を設置し た。 ・東西道路側に出入口を設けることで 国道246号線側の車の渋滞発生を避 け、周辺地域の交通の安全に配慮して いる。 ・トラックと乗用車、人の動線を明確 に分け、敷地内の安全に配慮してい る。	・建築物の周囲に植栽帯、緩衝緑地 帯、街路樹を設けた。(再掲) ・東側・北側駐車場に緑化ブロックを 設けた。(再掲) ・座間市開発等指導要綱技術基準で定 められている緑化基準(20%)を満たす 緑化をした。(12,321.05㎡、20%以 上) (再掲) ・倉庫棟には3Fテラスと屋上に屋上緑 化を設けた。(再掲)	・アイドリングストップ等の省エネ運 転・機械操作を徹底した。 ・建設機械(車両、重機等)の適正整備 を行った。	△		△			●	△コー ジェネ ●高効率 空調設備	倉庫棟 ・総合評価★★★ ★A以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイク ルCO2排出率80% 以下 ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア2.5以上	倉庫棟 ・総合評価★★★ ★A ・地球温暖化への 配慮ライフサイク ルCO2排出率77% ・ヒートアイラン ド現象の緩和 ス コア3.0	2022/6/1	2023/9/30	2023/9/5 開発事業名称 開発事業者 区域の面積 棟番号 用途 延べ面積 構造 建築面積 措置の内容 再エネ活用検 計	2023/9/8							
011	(仮称)横浜戸塚 物流施設計画	横浜市戸塚区上矢 部町284番11外9筆	横浜戸塚特定目的 会社 取締役 稲 葉 孝史	本事業は近年増加する物流・倉 庫保管業務に対応すべく、マル チテナント型物流倉庫(最大4テナ ントまで入居可能)の建設を行 なうものです。敷地は、横浜内 陸部に位置し、横浜新道や国道 一号線に近接しており、東名高 速道路や圏央道にアクセスしや すく、首都圏及び広域には東日 本全域や東海地方へとアクセス できる場所に立地しています。 倉庫棟と付属棟(ドライバース タッフ・備品庫)を建設します	19,072.95	1	倉庫	38,694.00	建築面積：10694.15 ㎡、鉄骨造 地上4階、地下なし	・倉庫棟は、外壁ALC・屋根二重折板 とし外装の断熱化を図った。 ・3棟共に、積極的にLED照明器具を導入 した。 ・倉庫用の事務所空調に、全熱交換機 を採用した。	・横浜市開発事業の調整等に関する条 例に基づき、敷地内緑地において、緑 地の量の確保について配慮した(緑地面 積：2902.26㎡、約15%) ・倉庫棟の1・2階に荷捌場を確保し た。 ・倉庫棟の原則2階以上に室外機置場 を設置した。	・構内道路内の歩行者通路にカラー舗 装を採用した。 ・従業員数にあった適切な量の駐車場 を設置した。 ・倉庫棟の1・2階に荷捌場を確保し た。	・横浜市開発事業の調整等に関する条 例に基づき、敷地内緑地において、緑 地の量の確保について配慮した(緑地面 積：2902.26㎡、約15%) (再掲) ・開発事業によって生じた造成法面等 の緑化を図った。	・倉庫棟事務所エリアの内装仕上材に リサイクル材(グリーン購入法・エコ マーク商品)を採用した。 ・車両・重機のアイドリングストップ を励行した。	△		△			●	△コー ジェネ	棟番号1 (参考) CASBEE横浜による 総合評価B+以上	棟番号1 (参考) CASBEE横浜による 総合評価A	2022/8/1	2024/2/15	2023/12/8 棟番号 用途 延べ面積 構造 建築面積 措置の内容 再エネ活用検 計	2024/1/31							